

## 研究主題

### みんなで、よりよい学級・学校をつくる児童の育成

～伝える力・関わる力を伸ばす実践を通して～

昨年度に引き続き、「国語科授業づくり講座」及び高知県教育委員会の「夢・志を育む学級運営のための実践研究事業」のフォローアップ事業を受け、国語科の「話すこと・聞くこと」の領域と特別活動（1）との関連を図る。その上で、「書くこと」の領域に重点を置き、自分の考えを明確にして、表現する力の育成を目指す。「書くこと」に重点を置いた授業改善を行うことによって、個々の表現力が鍛えられ、「伝える力・関わる力」もさらに磨かれると考える。

これまでの国語科の授業づくりの考え方や方法を軸に、新しい観点での評価の具体や、見方・考え方を可視化し、授業改善を進める取り組みもこれまで通り充実させていく。

基礎学力の定着を図るための取組として、特に低学年においては、基本的な文字や語彙力を獲得するための指導（MIM）に力点をおくとともに、困り感のある児童の早期発見、早期対応に努める。また、モジュール学習において、漢字の読み書きや言葉のきまり等、本校の課題解決を図る取組に意図的・

継続的に取り組む。（図1）

